

人権課題	① 女性	② 子ども	③ 高齢者	④ 障がい者	⑤ 同和問題	⑥ アイヌの人々	⑦ 外国人
	⑧ HIV感染者・ハンセン病元患者等		⑨ 刑を終えて出所した方			⑩ 犯罪被害者等	
	⑫ 北朝鮮当局による拉致問題等		⑬ その他（性の多様性と人権・性的マイノリティの人権など）			⑭ 人権教育一般	

※人権課題の分類は、平成14年3月、国が策定した「人権教育・啓発に関する基本計画」によります。

ホームページ掲載情報																		
地域	人権課題														氏名・名称	活動内容（表記は、登録者・団体の登録票による）	ホームページ アドレス	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭				
東信	○	○					○									澁谷 高子	（有）TTS代表取締役、英語・韓国語の翻訳・通訳、英会話スクール、自治会での講演	https://www.tts-ueda.com/languagecafe
東信							○									入安 ムニレ	人権活動、外国人女性の支え合い 外国人との関わり方、外国人が地域の一員として暮らしていくために	
南信							○									吉澤 裕美子	日本語教室（ハンドインハンド和楽）の活動、長野県地域共生コミュニケーター、外国籍県民との交流・連携事業の企画・推進	
南信	○	○					○									宮坂 久美子	異文化理解コミュニケーション、国際理解教育、セルフ・エスティーム、絵本	
南信							○									大橋 春美	満蒙開拓団、日本に在留する外国人に対する偏見や差別意識等について	
南信							○									外国籍市民サポートグループ ねこじゃらし茅野	外国人のための支援	
南信							○									ハンド イン ハンド和楽	外国籍県民との交流・協力・支援ボランティア、日本語教室、相談、他機関との連携。地域の人材・活動の橋渡し	
南信							○									飯田市公民館 わいわいサロン	日本語学習を中心とした異文化交流サロン 各地区公民館で日本語学習や交流事業を実施	
南信							○									宮ヶ迫 ナンシー理沙	これまで多文化共生の推進を目的に、学校内外における学習支援や地域での取り組みに携わってきました。外国にルーツのある子どもや若者への支援をはじめ、地域住民との相互理解を深める活動を行っています。自身も日系ブラジル人として子ども期に来日し、日本で教育を受け育った経験を背景に、外国にルーツのある人々が日本で暮らしてきた歴史的背景や制度の変遷、現在直面している課題について、具体的な事例を交えながらお話ししています。多文化共生を特別なものとして切り分けるのではなく、日々の地域づくりの中でどのように向き合っていけるのかを、参加者のみなさんとともに考えることを大切にしています。	
中信	○	○	○				○								○	降旗 幸子	青少年支援活動50年は私の誇りです。現在はマリimba演奏集団「マリンバマミーズ」を主宰。アンサンブル演奏と共に、音楽療法と脳活レクリエーション等、心の健康活動を行っている。	
中信							○									松本強制労働調査団	アジア太平洋戦争中の朝鮮人・中国人強制労働の実態調査、戦争遺跡の調査・案内・保存の取り組み	
北信							○									横谷 マリア	ブラジルから来日して30年以上になります。教育・労働・医療・生活などについて、ブラジル人からさまざまな相談を受けてきました。日本語が苦手なブラジル人のために通訳・翻訳の活動もしています。外国人が社会の一員として生活できるように支援をしています。	